

因島業界動向

2024 年 7 月～9 月

(令和 6 年 7 月～9 月)

因島商工会議所

調査の概要

1. 調査方法 FAX送信・オンライン回答によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和6年9月の状況と前年同月調査との比較
②同一項目における令和6年10月～12月の先行き見通し
3. 調査時期 9月初旬～下旬
4. 調査対象 52社(製造業:18社 非製造業:34社)
5. 回収状況 34社(製造業:15社 非製造業:19社)※内オンライン回答 10社
回答率 65.4% (前回比同率 ※日商LOBO調査含む)
6. 回答構成比率

回答の構成	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
65.4%	44.1%	14.7%	14.7%	8.8%	17.6%

DI:各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI=(増加・好転など「良い」の回答割合)－(減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格:DI=(下降)－(上昇)

製品・商品在庫:DI=(不足)－(過剰)

1.【因島経済動向調査(DI方式)報告】

～因島景況の総括 令和6年9月期～

全業種DI(良い－悪い)は、▲35(前回調査▲9、R5.9月調査▲19)で前回調査から比較すると▲26ポイントとなった。製造業では、造船・同関連: 20(前回調査 40)で前回調査比▲20。その他機械金属:▲20(前回調査 25)、食品等▲40(前回調査▲20)で、製造業DIは▲14(前回調査 15、R5.9月調査▲17)と▲29ポイントとなった。

非製造業では、建設業:▲20(前回調査▲50)、卸売業:▲60(前回調査▲40)、小売業:▲67(前回調査 0)、運輸・サービス業:▲67(前回調査▲25)で、非製造業DIは▲53(前回調査▲27、R5.9月調査▲20)で前回調査より▲26ポイントとなった。

【製造業】

前回調査より大幅な下落でのマイナス転化となった。食品関係は調査時期の気温上昇による需要低下、木製品関係では金利上昇による住宅業界の景況の悪化が影響し前回より悪化。尚、自転車部品や土石製品では景況回復の傾向が見られた。

【非製造業】

中国地方全体では、建設、サービス系業種での好況がみられるが、当該地域においても同地方内での公共工事の下支えも影響し建設業種でのDI値上昇がみられた。卸売業種においても、今後受注増が見込まれる回答もあるが、国内の個人消費においては依然低調が続いており、業種全体での景況悪化が目立つ形となった。

【令和6年9月期 景況DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R5.9月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	6%	53%	41%	▲ 35.0
(前回)	15%	61%	24%	▲ 9.0
(前年同月)	17%	47%	36%	▲ 19.0
製造業(当月)	13%	60%	27%	▲ 14.0
(前回)	29%	57%	14%	15.0
(前年同月)	25%	33%	42%	▲ 17.0
非製造業(当月)	0%	47%	53%	▲ 53.0
(前回)	5%	63%	32%	▲ 27.0
(前年同月)	13%	54%	33%	▲ 20.0

【令和6年10月～12月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI(良い－悪い)は▲18(前回月調査▲30、R5.9月調査▲31)と前回調査と+12ポイントの見通しである。

製造業では、造船・同関連:0(前回調査 20)と▲20、機械金属:▲20(前回調査 0)、食品等 0(前回調査▲40)で、製造業DIは▲6(前回調査▲7、R5.9月調査 ▲25)で+1ポイントの見通し。

非製造業では、建設業:▲20(前回調査▲50)、卸売業:▲20(前回調査▲60)、小売業:▲67(前回調査▲25)、運輸・サービス業:▲20(前回調査▲50)で、非製造業DIは▲27(前回調査▲48、R5.9月調査▲34)で+21ポイントの見通しである。

【令和6年10月～12月の先行き見通し 景況DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R5.9月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	6%	70%	24%	▲ 18.0
(前回)	9%	52%	39%	▲ 30.0
(前年同月)	8%	53%	39%	▲ 31.0
製造業(当月)	7%	80%	13%	▲ 6.0
(前回)	14%	65%	21%	▲ 7.0
(前年同月)	8%	59%	33%	▲ 25.0
非製造業(当月)	6%	61%	33%	▲ 27.0
(前回)	5%	42%	53%	▲ 48.0
(前年同月)	8%	50%	42%	▲ 34.0

～因島生産額・売上の総括 令和6年9月期～

全業種DI(良い－悪い)は▲23(前回月調査▲15、R5.9月調査▲3)で▲8ポイントとなった。

製造業では、造船・同関連:20(前回調査 40)、機械金属:▲40(前回調査 25)、食品等▲20(前回調査 0)で、製造業DIは▲13(前回調査 22、R5.9月調査▲8)で▲35ポイントとなった。

非製造業では、建設業: 20(前回調査▲100)、卸売業:▲40(前回調査▲40)、小売業: 33(前回調査 ▲25)、運輸・サービス業:▲100(前回調査▲38)で、非製造業DIは▲31(前回調査▲42、R5.9月調査 0)で、前回調査から+11ポイントとなった。

【製造業】

造船関連において、一時期の為替相場と比べ円高傾向となっている為、受注済み製品の採算悪化に伴う為替差損が発生している。その他、原材料高騰により適正価格までの価格転嫁が追い付いておらず、売上減となっている。

【非製造業】

円安や物価上昇に伴う価格転嫁が未だ追いついていないものが多く、生活インフラに係る費用の高騰による全体的な節約志向の継続が、売上上昇に歯止めをかけている。小売業種においては、季節性アクティビティ関連商品が売り上げを後押しした。

【令和6年9月期 売上DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R5.9月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	18%	41%	41%	▲ 23.0
(前回)	18%	48%	33%	▲ 15.0
(前年同月)	28%	41%	31%	▲ 3.0
製造業(当月)	27%	33%	40%	▲ 13.0
(前回)	36%	50%	14%	22.0
(前年同月)	42%	8%	50%	▲ 8.0
非製造業(当月)	11%	47%	42%	▲ 31.0
(前回)	5%	48%	47%	▲ 42.0
(前年同月)	21%	58%	21%	0.0

【令和6年10月～12月の先行き見通し】

全業種DI(良い－悪い)は▲12(前回月調査▲18、R5.9月調査▲11)で前回調査から+6ポイントの見通しである。

製造業では造船・同関連:20(前回調査 20)、機械金属:▲20(前回調査 25)、食品等▲40(前回調査▲60)で製造業DIは ▲14(前回調査▲8、R5.9月調査 0)で前回調査より▲6ポイントの見通し。

非製造業では、建設業:20(前回調査▲50)、卸売業:0(前回調査▲40)、小売業:▲33(前回調査 0)、運輸・サービス業:▲40(前回調査▲25)で非製造業DIは▲11(前回調査▲27、R5.9月調査▲16)と前回調査より+16ポイントの見通し。

【令和6年10月～12月の先行き見通し 売上DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R5.9月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	12%	64%	24%	▲ 12.0
(前回)	12%	58%	30%	▲ 18.0
(前年同月)	22%	45%	33%	▲ 11.0
製造業(当月)	13%	60%	27%	▲ 14.0
(前回)	21%	50%	29%	▲ 8.0
(前年同月)	33%	34%	33%	0.0
非製造業(当月)	11%	67%	22%	▲ 11.0
(前回)	5%	63%	32%	▲ 27.0
(前年同月)	17%	50%	33%	▲ 16.0

3.【在因島金融機関取扱い(残高)状況】

(単位:百万円、%)

項 目 年 月		残 高 合 計				前年 同月差
		預 金	前年 同月比	貸出金	前年 同月比	
令和5年度末		145,558	105.4%	53,535	99.3%	-2.3
R6	第1／四期末	143,692	101.8%	52,716	98.2%	-1.3
年度	第2／四期末	143,488	11.1%	52,878	98.8%	-0.8

地方銀行2行、信用組合1行、計3行の合計。

(因島金融懇談会調)

※第2四期は7月末時点の暫定値

4.【企業倒産状況】(負債総額1,000万円以上)

(単位:件、百万円)

項 目 年 月		倒産件数		負債総額		備 考
		件 数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	
令和5年度総数		0	0.0	0	0.0	年度計
R6	第1／四期末	0	0	0	0	期 計
年度	第2／四期末	0	0.0	0	0.0	〃

(㈱東京商工リサーチ広島支社調)

5.【月間有効求人数・月間求職者数・求人倍率】

※令和5年8月末現在

(単位:人、倍)

項 目 年 月		有 効 求 人 数		有 効 求 職 者 数		有 効 求 人 倍 率		備 考
		人 数	前年比 (%)	人 数	前年比 (%)	倍 率	前年比 (%)	
令和5年度平均		2,616	86.2%	1,953	103.9%	1.34	0.83	
R6	第1／四期	2,674	102.7%	2,064	98.0%	1.30	0.06	
年度	第2／四期	2,629	107.5%	1,920	98.5%	1.37	0.11	

注:新規学卒者を除き、パートを含む。月平均は四捨五入。

(ハローワーク尾道調)

※第2四期は7月末時点の暫定平均値

6.【経営改善資金推薦状況】

(単位:件、万)

年 月 項 目		推 薦					決 定		
		件数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	運転	設備	件数	金 額 前年比 (%)
令和5年度		19	105.6	13,260	125.3	10,980	2,280	19	13,260 124.9
R6 年度	第1／四期末	4	57.1	4,650	101.5	3,790	860	4	4,650 101.5
	第2／四期末	3	60.0	1,300	29.6	1,300	0	1	300 6.8

※件数、金額は集計時以降変動する可能性があります。

(因島商工会議所調)

7.【因島商工会議所会員数】

(単位:者、社)

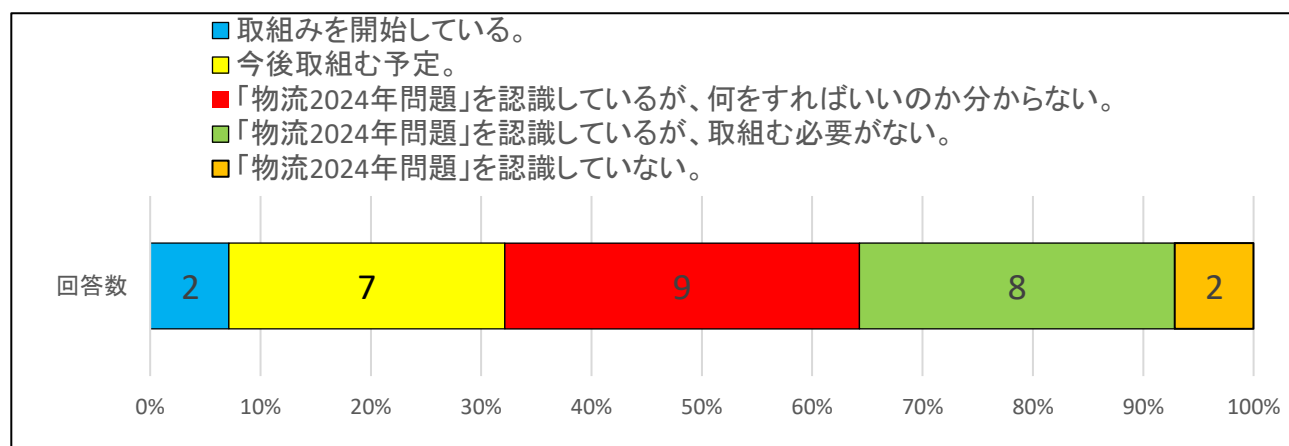
区 分	6月30日現在 会 員 数	新規会員数	脱退者数	9月30日現在 会 員 数
法 人	456	2	1	457
個 人	441	7	2	446
合 計	897	9	3	903

※注:組織変更含む

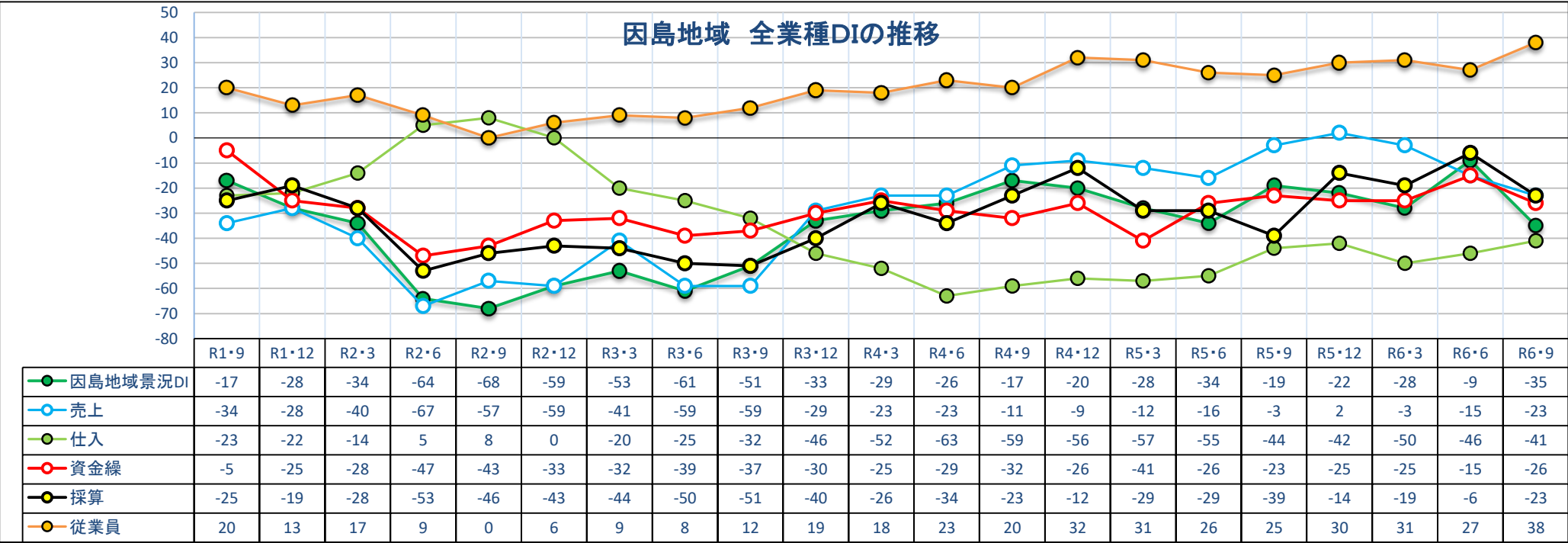
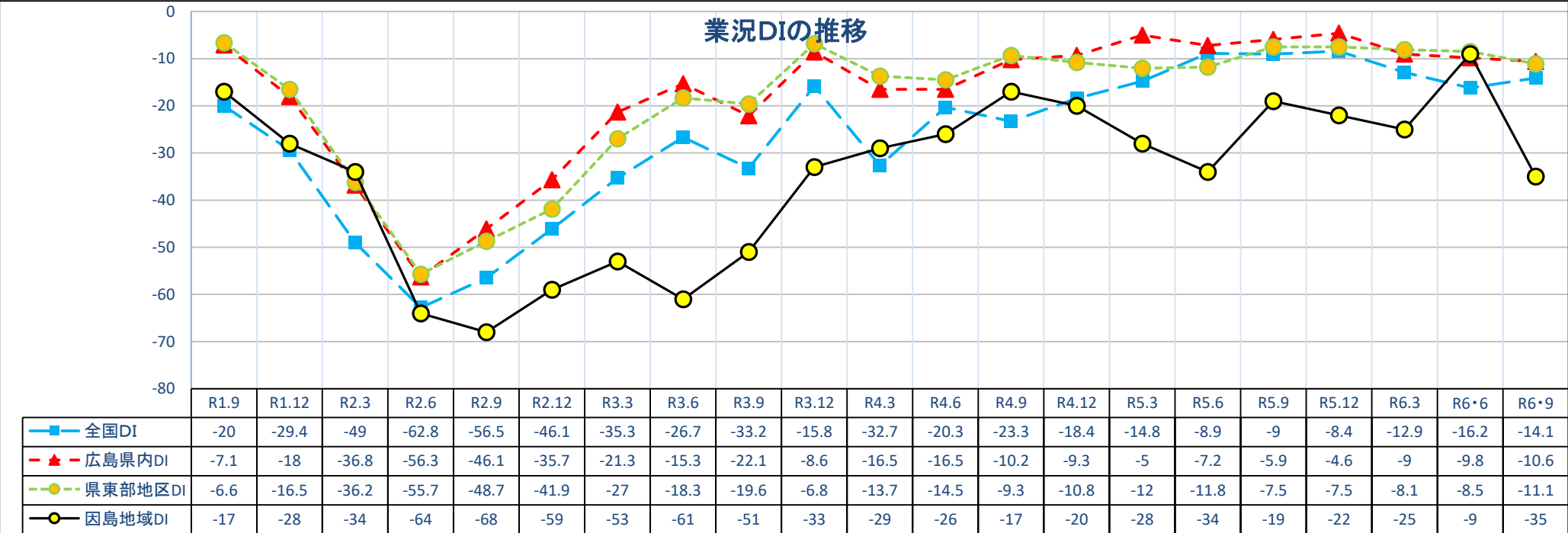
8.【今期のアンケート調査結果】

回答件数 28件

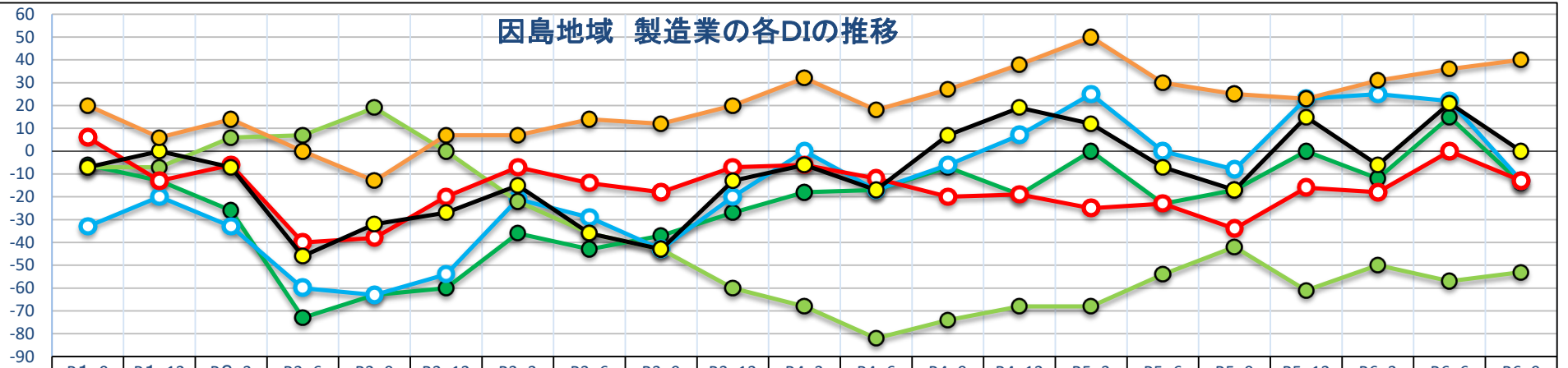
◆運輸事業者の時間外労働時間の上限規制により、輸送能力が不足する事が懸念されている「物流2024年問題」について、同地域内の物流効率化等の取り組み実施について質問を行ったところ、3割強の事業者が取組を実施、又は行う予定との回答があった。また、「認知しているが、何をすればいいかわからない」と回答された事業所は製造、非製造業種共に一定数あり、当該エリアにおいて取り組むべき課題が顕著に現れた結果となった。



9.【因島業界動向 概況】

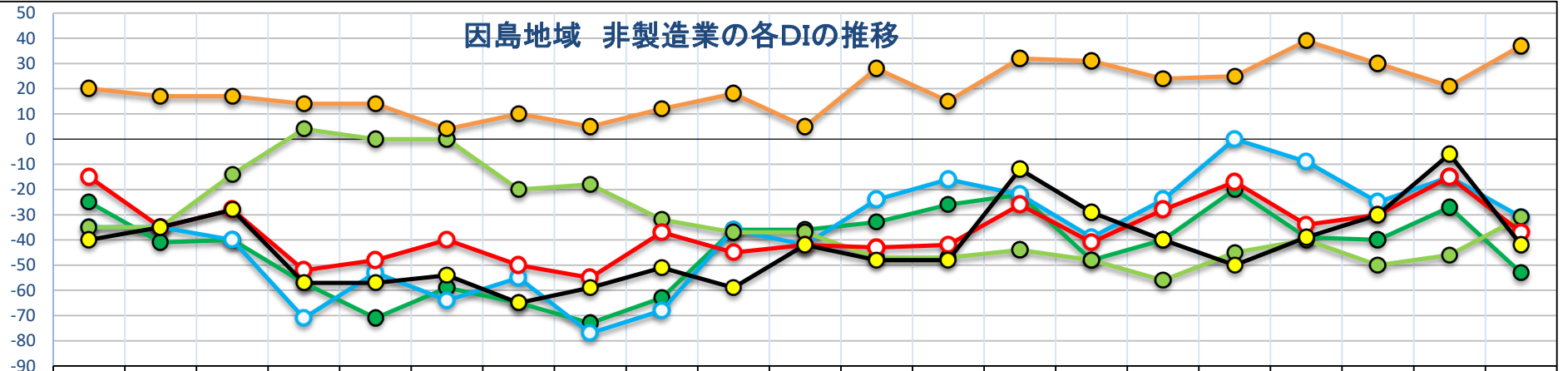


因島地域 製造業の各DIの推移



	R1・9	R1・12	R2・3	R2・6	R2・9	R2・12	R3・3	R3・6	R3・9	R3・12	R4・3	R4・6	R4・9	R4・12	R5・3	R5・6	R5・9	R5・12	R6・3	R6・6	R6・9
製造業 景況	-6	-13	-26	-73	-63	-60	-36	-43	-37	-27	-18	-17	-7	-19	0	-23	-17	0	-12	15	-14
売上	-33	-20	-33	-60	-63	-54	-21	-29	-43	-20	0	-17	-6	7	25	0	-8	23	25	22	-13
仕入	-7	-7	6	7	19	0	-22	-36	-43	-60	-68	-82	-74	-68	-68	-54	-42	-61	-50	-57	-53
資金繰	6	-13	-6	-40	-38	-20	-7	-14	-18	-7	-6	-12	-20	-19	-25	-23	-34	-16	-18	0	-13
採算	-7	0	-7	-46	-32	-27	-15	-36	-43	-13	-6	-17	7	19	12	-7	-17	15	-6	21	0
従業員	20	6	14	0	-13	7	7	14	12	20	32	18	27	38	50	30	25	23	31	36	40

因島地域 非製造業の各DIの推移



	R1・9	R1・12	R2・3	R2・6	R2・9	R2・12	R3・3	R3・6	R3・9	R3・12	R4・3	R4・6	R4・9	R4・12	R5・3	R5・6	R5・9	R5・12	R6・3	R6・6	R6・9
非製造業 景況	-25	-41	-40	-57	-71	-59	-65	-73	-63	-36	-36	-33	-26	-22	-48	-40	-20	-39	-40	-27	-53
売上	-35	-35	-40	-71	-53	-64	-55	-77	-68	-36	-42	-24	-16	-22	-39	-24	0	-9	-25	-15	-31
仕入	-35	-35	-14	4	0	0	-20	-18	-32	-37	-37	-47	-47	-44	-48	-56	-45	-40	-50	-46	-31
資金繰	-15	-35	-28	-52	-48	-40	-50	-55	-37	-45	-42	-43	-42	-26	-41	-28	-17	-34	-30	-15	-37
採算	-40	-35	-28	-57	-57	-54	-65	-59	-51	-59	-42	-48	-48	-12	-29	-40	-50	-39	-30	-6	-42
従業員	20	17	17	14	14	4	10	5	12	18	5	28	15	32	31	24	25	39	30	21	37